

(第3種郵便物認可)

生産、仕入れ、建築：13社参加

九経連が林業振興研究会

13年度までに具体策提言

九州経済連会（九経連）は九州の林業振興に向けた方策を話し合っ

九州次世代林業研究会を立ち上げ、25日福岡市内で初会合を開く。林業

従事だけでなく、木材を仕入れる立場の製紙や電力、住宅建設などの民

間企業も参加し、九州産木材の利用促進策を幅広く議論。2013年度ま

でに課題克服への具体的な取り組みをまとめた「アクションプラン」を策

定し、九州地方知事会などと組織する「九州地域戦略会議」に提言する。

九州の林業振興をめぐり「州サミット」では、民間
の企業にも幅広く議論への声、流通、販売の各関係
者からそれぞれの立場から
意見を促すことで、森林
資源の活用促進や林業再
生を図っていく宣言を行
った。
今開設される研究会
は、これまで出された宣
言など、山林に設置さ

れた間伐材を活用した木

質ハイオク発電につい

ても話し合う。

民間メンバーは九州電

力や鹿児島日本製紙木材、

タムホーム、日本経済研

究所など13社となる予

定。九州森林管理局の平

之山俊作局長や各県の林

務担当課長らもオプサ

ートとして参加する。座

長は北九州市立大学院

の「エコシステム研究科の城

戸宏史教授が務める。

九経連は「日本は森林

資源が豊富だが、九州を

含む輸入木材の利用率が

高い。各関係者が県境を

越えて話し合うことで、

九州が一体となって取り

組むべき方策をまとめて

いきたい」としている。

(向井大慶)